

上級日本語・秋田学冬期集中プログラム (J-CIP:A) シラバス

プログラム期間：2026年1月7日（水）～2月12日（木）

単位数：JPL472-1_W 日本語上級 6単位

プログラム担当教員	名前	Office	E-mail
プログラムコーディネーター	初田 絢奈	A3-20	ahatsuda@aiu.ac.jp
日本語授業/体験学習担当教員	初田 絢奈		
	阿部 祐子	A3-14	yukoabe@aiu.ac.jp
	近藤 裕美子	A3-19	ykondo@aiu.ac.jp

概要：

本プログラムは、CLIL(Content and Language Integrated Learning)の考えに基づき、内容（Content）、言語（Communication）、思考（Cognition）、協学（Community/Culture）という4つのCを統合し、日本と秋田を学びながらそれぞれのスキルを伸ばすことを目的としている。

4つのCとその内容	
内容	日本・秋田の伝統芸能、伝統工芸品、伝統食、暮らし、など
言語	1分スピーチ、ディスカッション、発表、インタビュー、敬語、国際教養大学の学生とのフリートーク、など
思考	少子高齢化問題や伝統工芸品・伝統芸能の継承問題についての考察、など
協学	ディスカッション、ペア・グループワーク、プロジェクトワーク、など

授業の他、多くの課外活動もある。様々な国から来たクラスメート及び教室外の人と接することで、その場面と相手に応じた待遇表現を身に付けたり、対話を通してそれぞれの文化や価値観を理解したりすることも目的の一つとしている。

目標：

1. 日本・秋田に関する知識と知見を広めると共に、自国やクラスメートの国についても知る。
2. 日本語の口頭表現能力を中心とした日本語運用能力全般を高め、場面に応じて適切な日本語が使えるようになる。
3. 当たり前だと思われることや常識に疑問を持ち、それらについて日本語で考え、新たな解決策や価値観を見つける。
4. 互いに助け合い、認め合い、日本語力を伸ばすという同じゴールに向けて共に努力する。

コース内容：

1. 秋田学クラス

日本・秋田の伝統工芸品、伝統芸能、伝統食などについて学ぶ。また、外部の方と話す際に使う敬語も練習する。

2. 会話クラス

2週目から5週目まで、1回45分間の会話セッションを設ける。授業の内容、普段の生活、疑問に思ったことなど、様々なことについて国際教養大学の学生と自由に話す機会を持つ。

3. 課外活動

以下の課外活動を予定している。

- バスツアー（秋田市、五城目、角館・田沢湖、男鹿、横手・湯沢）
- シェアビレッジ訪問 (<https://sharevillage.jp/>)
- 白岩燈火祭のお手伝い
- きりたんぼ鍋作り

予定表：別紙参照

テキスト：生教材

成績評価：

午前クラス・バスツアーなどの出席&参加態度*	25%
会話クラスの出席&参加態度	15%
宿題・授業準備**	20%
最終プロジェクト	40%

* 原則として、プログラム全日程に出席すること。授業時間（バスツアーなど課外活動も含む）の1/3以上欠席すると成績がFになります。遅刻は減点です。

** 宿題や授業準備は、その日の授業までにしてきてください。遅れた宿題は受け付けません。